



社屋移転 さらば旭町 からの真砂町

オーバーでカッコ良すぎのスタッフ紹介が読む人の笑いを誘う。この人たちに仕事を依頼したいと思わせるセンスの良さが光る

「さらば旭町」という映画のパンフレットのようなデザイン。何の会社が説明していないのに思わず手に取ってしまうチラシだ

製作者

山口博美・春樹さんからのPR

移転通知とともに、業務内容とスタッフの紹介をしようと作製しました。特にスタッフ紹介については、お客さまとお会いした際にネタとして、「クスッ」と笑ってもらえるような文章にしました。2万7000枚を新聞折り込み、ポスティング、DMで配布。またフェイスブックでも公開したため、遠方からも依頼がありチラシを郵送しました。折り込み当日は朝から大反響で、就職したいという声が上がるほど話題になりました。



老舗看板店が移転を機に 業務内容とスタッフの個を発信

審査委員長 佐藤勝人評

小売業の移転チラシなら分かるけれど、屋外広告業者が「なぜ？」と思わせる意外性がいいですね。それもまたこの会社のセンスなのだと思います。自分たちの力量を見せるのに、こういうチラシの使い方もあるのかと。スタッフのコメントも面白く、センスがありますね。

審査委員 唐土新市郎評

看板店が移転チラシを配布するという斬新さに驚きました。「さらば旭町」というキャッチも「何？」と思わせませぬ。旭町の人は寂しくなりますね。厚手の上質紙を使うなど紙にもこだわっているし、自分たちのセンスをギュッと詰め込

んでいる感じがします。

審査委員

一般社団法人日本新聞折込広告業協会専務理事 松本 智評

普通ならホームページで「移転しました」となるところを、あえてチラシにした。つまり、移転を自社の販促ツールに使ったわけですね。そういうチラシの使い方が面白いと思いました。これは他の業種でも応用できそうですね。

※一般社団法人日本新聞折込広告業協会…新聞折り込み広告に関する調査・研究、研修会・セミナー・表彰の実施、情報の収集・提供などを行い、業界内外の交流等を通じて新聞折り込み広告の普及啓発を図る。略称はJ-NOA (Japan-Newspaper Orikomi Advertising Agencies Association)。



移転

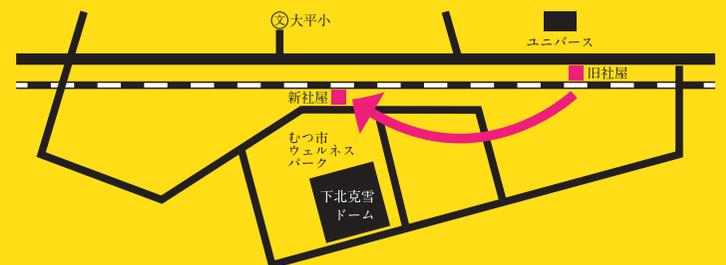
社屋

2015.4.13 Start

さらば旭町

からの真砂町

New location



有限会社十字堂



(新住所) 〒035-0075 青森県むつ市真砂町6-14

TEL 0175-29-1637 FAX 0175-29-1649

E-mail sign@jujido.co

青森県屋外広告芸術業協同組合 屋外広告業 青森県知事(02)第19号

想いをカタチに...

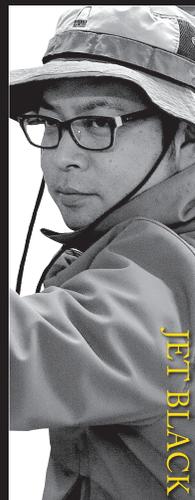
地域の皆様には日頃より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、長年の夢が叶い、新社屋の建設・移転の運びとなりました。

新しい社屋は、

- ①時代と共に移り変わってきた加工方法に見合う、作業のしやすい間取り。
- ②デザイン性の高いサインを企画できるこだわりの空間。
- ③お客様にゆっくり夢を語っていただけるような、静かで落ちついた立地。
- ④スタッフ同士がコミュニケーションを取りやすい職場環境。

をカタチにしました。

今年で創業68年となる弊社が末永く皆様に愛され、そしてお客様とそのまたお客様の幸せのお役に立てるようスタッフ一同ますます努力してまいりますので、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



JET BLACK

斜め上ゆく感性と
漆黒の妖しい眼差し

デザイン部チーフ

山口春樹



TASTE OF HONEY

笑顔で心を奪い
お茶でとどめを刺す

事務

坂本園子



CALMNESS

冷静に先を読む
若き構築の要

製作部チーフ

石割 司



FULL OF PASSION

宿る炎に皆が汗ばむ
情熱の伝道師

代表取締役

山口博美



AIR K

強く優しい人柄で
空中作業を支配する

製作部

山本勝之



EXPERIENCED

経験を武器に現れた
期待の中型新人

製作部

木村正信



DECORATE THE HISTORY

歴史を彩ってきた
母なる仕事人

部長

畑中勝子



集客に効果的なサインプランをご提案します。

「看板」と一言で言っても、様々な種類があります。費用をかけて看板を製作すれば必ず集客が上がるとは限りません。店舗周囲の環境や立地条件を把握し、他店との違いをいかに上手くサインへ表現するかが重要なのです。看板を通じて、お客様のパートナーとして、お役に立ちたいと思います。



自社製作・自社施工だからできるコストダウンとパフォーマンス。

「看板」の多くは主に屋外で使用されます。そのため、耐久性を考えた強度ある構造が要求されます。十字堂では、看板の骨組みとなる鉄骨のフレーム溶接から、使用素材の裁断・加工・塗装や、特殊なインクジェットプリント等、自社職人による一貫した製作をしております。私たちが目標とする看板製作は、安さだけではなく、見た目も、耐久性も兼ね備えた、価値のある看板をご提供することです。



デザインを真剣に考えます。

十字堂はデザインを大切にしています。実務経験10年以上のデザイナーが担当し、お客様と一緒にカタチを作り上げていきます。サインデザインは、取り巻く環境に対しての調和や配慮が求められます。主張しすぎず、でも埋もれてしまわない。見る人の目に心地よく、かつ刺激的に映るサインを理想とし、日々追及しています。従来のデザインスタイルから最先端のデザインスタイルまで、幅広く対応いたします。

